実務家教員育成研修プログラム受講申込書

（2022年度版）

（申込書提出日：西暦0000年00月00日）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ふりがな | | 〇〇〇　〇〇〇 | | 写真  概ね6カ月以内に撮影された顔写真（データ）を張り付けてください。 |
| 氏名 | | ○○　○○ | |
| 生年月日 | | 西暦　　　　年　　月　　日 | |
| 血液型 | | 〇型 | |
| 勤務先 | |  | |
| 地位・職名 | |  | |
| 勤務先  所在地 | | 〒 | | |
| 現住所 | | 〒 | | |
| 本籍地 | | 都道府県名を記入してください。 | | |
| 電話番号 | | 個人に連絡がつく番号（携帯電話等）を記入してください。 | | |
| メール | | 添付ファイルが受信可能な個人メールアドレスを記入してください。 | | |
| 保有資格 | | 建設関係の技術資格（学位を含む，公的資格優先）のうち，現在保有しているものを記入してください。 | | |
| 最終学歴 | | 0000年00月 | 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻　修士課程修了 | |
| 高専学歴 | | ある場合は高専名（例：○○高等専門学校 卒業）を記入し，無い場合は“なし”と記入してください。 | | |
| 職歴 | ※ | 西暦年月 | 勤務先，所在地，地位・職名，業務内容 | |
|  | 0000年00月  ～0000年00月 | （記入例）  ○○建設，大阪府，工事長、都市土木構造物の施工管理 | |
|  | 年 月  ～ 年 月 |  | |
|  | 年 月  ～ 年 月 |  | |
|  | 年 月  ～ 年 月 |  | |
|  | 年 月  ～ 年 月 |  | |
|  | 年 月  ～ 年 月 |  | |
|  | 年 月～ | 最終行は現在の職について記入してください。 | |
| 職務実績① | | 選択した職歴①について，当該職務での立場，役割，業務実績等を具体的かつ簡潔に記入してください。（300字程度） | | |
| 職務実績② | | 選択した職歴②について，当該職務での立場，役割，業務実績等を具体的かつ簡潔に記入してください。（300字程度） | | |
| 教育実績 | | 教育機関に限らず，企業内研修，業界団体等主催の講習会等での教育実績があれば，主催者，対象者，テーマ，内容（講義，実習・演習，現場指導，研修テキスト・マニュアル作成等），成果等を記入（100～150字程度）し，無い場合は“なし”と記入してください。 | | |
| 申込理由 | | 当該プログラムで修得したいスキル，実務家教員を志す理由，実務家教員としてのキャリアパス希望等について，自由に記入してください。（200字程度） | | |
| 教材作成・教育実習の希望テーマ | | 当該プログラムでは，「教育能力養成講座」で各人の実務経験や実務能力を活かした教材を作成し，「実証講座教育実習」で実際に教育指導・評価を行います。どのようなテーマで取組みたいか，希望を記入してください。（文字数制限なし）  例：〇〇大橋拡幅工事の経験を踏まえて「橋梁の幅員拡幅工事の設計的要点」  や「橋梁の幅員拡幅工事の施工的要点」をテーマに教材作成を考えている。 | | |
| 通信欄 | | 現在の勤務環境，勤務状況，当該プログラム受講に係る勤務先からの理解・支援の有無，健康状態等について，必要に応じて記入してください。（文字数制限なし） | | |

※ 職務実績を記入する職歴を２つ選択し，職務実績に対応する番号①，②を記入してください。

**★ 赤文字は注意事項，記入要領，記入例等です。削除の上，黒文字で記入してください。**

**★ 本様式は2ページで作成していますが，必要に応じて３ページ以上になっても構いません。**